



赤と緑と黄の小さな野菜

ナカハラのたね

Baby Leaf

ベビーリーフ

サラダ形態が変化しつつある日本の食卓に新しいサラダ野菜を提案する『ベビーリーフ』です。欧州では料理(フレンチ・イタリアン)に使用するハーブ類の幼葉を手で摘み取り、水洗いして食卓に添える習慣をヒントに、日本の気候に合った品種を選別したものです。野菜の一番美味しく、栄養がたっぷり詰まった幼葉(新葉)だけを手で摘み取るサラダ野菜。赤・緑・黄の小さな葉が、さまざまな形状で見目を楽しませ、香りと甘味・辛味・苦味で食感を楽しませてくれます。包丁でカットした野菜でなく、畑から手摘みしたまま食卓に並ぶので小さな葉の中に含まれたビタミン・ミネラル等の栄養価の流出も少なく、一度に多くの野菜を楽しむことができます。

【栽培】

- ベビーリーフは『レタス』、『チコリー』、『菜っば』、『ホウレンソウ』、『セルリー』、『ビート』の6つのタイプに分類されます。
- どのタイプも日当たりが良ければ、畑はもちろんベランダや室内・鉢・プランター栽培が楽しめます。
- 『レタス』は酸性の土壌を嫌うので、先ず苦土石灰を施してPh値を安定させます。
- 元肥中心とした土作りを行い、追肥する場合は灌水をかねて液肥を施します。
- 発芽・生育適温は20～25℃ですが、『レタス』に限っては25℃以上の高温になると休眠し発芽が低下しますので注意が必要です。
- 播種は十分に水分を含んだ土壌に均等にバラまきするか、条間10cm程度で条まきします。
- 覆土は種が軽く隠れる程度に行いますが、特に『レタス』は好光性種子のため深まきは避けましょう。
- 発芽するまでは適湿を保ち、極端な過湿・乾燥状態にならないよう注意します。

【収穫】

- 10～15cm位まで伸びたものから間引いて収穫します。
- 出荷する際は、各タイプより7～8品目をミックスしてバック詰めします。

【注意】

- 発芽温度・水分条件が満たされなければ、正常発芽しないことがあります。
- 春～夏にかけての栽培は日除けなどで発芽を揃え、高温長日で抽苔しやすいので早めに収穫を行います。
- 高温期は葉の赤色が薄くなるので、夏用の品種(スイスチャード、ビート(ブラッド)、レッドサラダ(夏用)、レッドオーク(夏用)など)を利用するのも良いでしょう。
- 冬場の栽培は生育が緩慢となるので、保温資材などを利用して生育を促進させましょう。
- 露地栽培の場合は霜除けなども必要です。

〈ベビーリーフのプランター栽培〉

- 1 タネまき**
条間8～10cm程度に条まきにして、軽く覆土します。(レタス系は薄くかける程度)
- 2 水やり**
タネが流れないように霧吹きなどを使って優しく水をやります。
- 3 7～10日目**
双葉が出揃ったところ、込み合ったり重なり合ったりした箇所や、倒れたり生育の良くないものを間引きします。
- 4 15日目**
草丈が5～7cm位に生長したら間引きを兼ねて収穫します。
- 5 30日目**
草丈が10～15cm位に伸びたところが収穫の適期です。ハサミで株元を残しカットし、萎れてしまわないように直ちに冷水に浸します。(株元を残しておけば10日ほど新しい葉が伸びてきます。)

収穫が楽しみ♪ ミックス種子

たくさんの種類がミックスされているので、大きく生長したのから収穫し食卓に並べましょう!!



菜っばミックス

ベビーリーフ(草丈10～15cm)用に最適な、10種類の葉物野菜(ブラシカ)のミックス種子。赤、緑、黄色系の混合で、葉形は長卵形、切れ込みの深いギザギザ形、緑が縮れるタイプなど変化に富む。



レタスマックス

ベビーリーフ(草丈10～15cm)用に最適な、8種のリーフレタス+エンダイブ+ビートの10種類のミックス種子。赤、緑、黄色系の混合で、葉形は長卵形、切れ込みの深いギザギザ形、緑が縮れるタイプなど変化に富む。

しあわせ たね
幸福の種子を育てたい



中原採種場(株)

〒812-0893
福岡市博多区那珂5丁目9-25
TEL(092)591-0310(代) FAX(092)574-4266

ケイタイ電話で



簡単アクセス!!

インターネットでも、各品種の特性や新品種情報をご覧頂けます。また、農業最新情報など関連情報も満載です。

ホームページ <http://www.nakahara-seed.co.jp> Emailアドレス info@nakahara-seed.co.jp